



第57回定期演奏会

アーツカウンシルさいたま助成金採択事業



さいたま市音楽家協会

ピアノ 野田留美奈

ソナタ 二短調 K.9,L.413

D.スカルラッティ

メランコリー FP.105 F.プーランク

バリトン 仁科 庄陰 ピアノ 松尾 綾

歌曲集「詩人の恋」Op.48 より

第1曲 美しい五月に

第4曲 君の瞳に見入る時

第5曲 心を潜めよう

第6曲 ラインの聖なる流れ

第7曲 恨みはしない

H.ハイネ：詩 R.シューマン：曲

ソプラノ 金子 杏奈 ピアノ 宮田 祐子

歌劇「ジャンニ・スキッキ」より

私のお父さん

G.プッチーニ

アヴェ・マリア

G.カッチーニ

ピアノ 渡辺 豊子

ソナチネ 八長調 Op.36-1

M.クレメンティ

官僚的なソナチネ イ長調

(サティの声 見富 文弥) E.サティ

ピアノ 佐々木令仁

ピアノソナタ第47番 短調 Hob.XVI:32

J.ハイドン

ピアノソナタ第13番 短調 Wq.55/3 より
カンタービレ C.Ph.E.バッハ

トランペット 星野 恵美 ピアノ 野田留美奈

ルスティーク

E.ボザ

メゾソプラノ 久甫 雪江 ピアノ 鈴木 裕子

ヴァイオリン 宮川 芳江 フルート 門傳美智子

歌劇「カルメン」より

ハバネラ ジブシーの唄 恋は野の鳥

G.ビゼー

ふるさとの

石川啄木：詩 平井康三郎：曲

ピアノ 松尾 綾

バラード第3番 変イ長調 Op.47

F.ショパン

ソプラノ 原口 朝子 ピアノ 小林 史明

胡蝶花に寄せて

貞松瑩子：詩 小林秀雄：曲

花の春告鳥

西岡光秋：詩 小林秀雄：曲

2026年10月31日(土)14:00開演(13:30開場)

さいたま市文化センター 小ホール JR南浦和駅西口徒歩7分

入場料 1,500円(全自由席)

【チケット取り扱い】

さいたま市文化センター

■Web受付 9月8日(火) 10:00~ <https://p-ticket.jp/saitama-culture>

※要利用登録(無料) ※初日受付はWebのみ

■窓口または電話受付 9月9日(水) 10:00~

さいたま市文化センター 048-866-3171(9:00~19:00/休館日除く)

【公演に関するお問合せ】090-8584-8868(事務局・佐藤)

主催：さいたま市音楽家協会 後援：さいたま市・さいたま市教育委員会・さいたま市文化協会・(公財)さいたま市文化振興事業団

さいたま市音楽家協会は、さいたま市在住、在勤の音楽家相互の交流と音楽文化の発展に寄与するために活動しています。

詳しくはホームページ <https://shionkyo.wixsite.com/shionkyo> をご覧ください。



Profile



野田 留美奈 (ピアノ)

フランス国立バリ高等音楽院ピアノ科・室内楽科及び慶應義塾大学文学部文学科仏文学専攻卒業。第43回全日本学生音楽コンクール中学校の部・東京大会第1位受賞。現在、「ルミナス・ピアノ教室」をさいたま市と東京都板橋区にて開講中。YouTubeチャンネル「Ruminarium Music」では、クラシック演奏動画の他、自作曲の自演動画（楽譜も販売中）も公開している。演奏表現学会会員として、旧奏楽堂での演奏研究発表なども行っている。



仁科 庄陰 (バリトン)

山形大学文学部卒業。明治大学大学院博士課程前期文学研究科を修了、ギリシア古代史専攻。声楽を牧野成史氏、小川素子氏に師事。歌詞翻訳（ドイツ語、ラテン語、イタリア語、英語ほか）と楽曲の解説に長年に渡り携わり、2022年に上下巻の翻訳集にまとめた。ザルツブルク音楽祭に合唱で12回参加。ドイツ歌曲、宗教曲を中心に声楽曲の研究を重ね、演奏にも取り組んでいる。



金子 杏奈 (ソプラノ)

高校より声楽を始め東邦音楽大学附属東邦第二高等学校卒業後、国立音楽大学へ進学。幼少の頃は子役として演劇の舞台活動を行い、24時間TVにコーラスとして出演。高校在学中にローマ歌劇場オペラ「トスカ」に出演。大阪国際音楽コンクール声楽部門入賞。近年では歌に限らず、声優として、学童児童向けのボイスドラマに出演。本業の声楽を始め、多種分野に精力的に活動中。



宮田 祐子 (ピアノ)

国立音楽大学音楽教育科卒業。現在ピアノ、声楽指導の他、管楽器、声楽、オペラの伴奏者としてコンサートに出演。2006年ピアノジョイントコンサート開催。2008年、ウィーン特別音楽コースにピアノ、声楽で参加。2009年、ウィーン国立音楽大学マスタークラスにピアノで参加。修了コンサートに出演。ピアノ、声楽を田中はる子氏に師事。



渡辺 豊子 (ピアノ)

静岡雙葉学園中学・高等学校卒業。在学中2回「全日本学生音楽コンクール」静岡県予選で第1位受賞。武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業後からピアノアカデミーにて現在も研鑽中。1995年にクラシック音楽普及の為に有志と「ラ・ムジーク」を設立し結成30周年の記念コンサートを開催する。現在も活動を意欲的に続け永年にわたる福祉施設での演奏貢献により個人又は「ラ・ムジーク」に県と市より5回表彰される。2015年～2022年にオペラシティでの『ピアノ・ツマラソンコンサート』に毎年出演する。現在、品川学藝アカデミーピアノ講師。



見富 文弥 (サティの声)

明治学院大学卒業、武蔵野音楽大学修学。在学中より教会音楽、ミサ曲等の礼拝音楽に親しむ。バッハのクリスマスオラトリオ、ハイドンの天地創造、ミサ曲、カンタータ等のソロに携わる。また、オペラではカルメン、魔笛等、他数多くのコンサートに出演。埼玉オペラ協会会員。藤沼昭彦、沢木和彦の各氏に師事。



佐々木 令仁 (ピアノ)

ドイツ国立カールスルーエ音楽大学修士課程修了。これまでにピアノを坂井玲子、K.Randall、リート伴奏法をM.Hadullaの各氏に師事。さいたま市音楽家協会主催の定期演奏会、サロンコンサートにソロやアンサンブルで度々出演するなど広く演奏活動を行うほか、後進の指導にあたる。



星野 恵美 (トランペット)

上野学園大学音楽文化学部音楽学科器楽コーストランペット専攻卒業。学長賞受賞。在学中には英国にて研鑽を積む。広域通信制高等学校教諭、さいたま市立小学校非常勤講師を経て、現在は東京都立特別支援学校教諭。埼玉県アーティストボランティアバンクメンバーとして各所での依頼演奏も行っている。



久甫 雪江 (メゾソプラノ)

神戸学院大学音楽学部ピアノ科卒業。スイスのルツェルンの夏期講習にピアノで参加。大学在学中より副科で声楽を始める。2010年頃よりオペラ明日歌コンサートに出演、声楽の研鑽を積む。現在、声楽、ピアノのソロやアンサンブルのコンサートに出演しており、後進の指導にあたっている。声楽を、河辺道子、井田安子の各氏に、ピアノを奥村智美、井出よし江の各氏に師事。音楽サークルレインボー所属。PTNA指導者会員。



鈴木 裕子 (ピアノ)

東京都立芸術高等学校を経て武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。在学中にストックホルム国際ピアノシンポジウム、卒業後ブダペスト国際ピアノシンポジウムで演奏。浜松でのピアノフォーラムにてピアノデュオ演奏。加勢るり子、井上英子、岡野登与子、白澤暁子各氏に師事。ソロ、伴奏等の演奏活動の他、後進の指導にあたる。



宮川 芳江 (ヴァイオリン)

桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン科卒業。宗倫安、宗倫匡、原田幸一郎の各氏に師事。大宮光陵高校音楽科、フェリス音楽教室講師を経て、自宅にて後進の指導にあたる。現在、弦楽合奏団・メール・ロウ団員。2022年にボーノ・ストリング・フルトット結成し活動中。



門傳 美智子 (フルート)

武蔵野音楽大学音楽学部フルート専攻卒業。フルートを長谷川博、甲斐道雄、ローラント・コヴァーチの各氏に師事。フルートデビューリサイタル、第7回埼玉県新人演奏会ほか多数出演。スイスにて行われたジェームス・ゴールウェイフルートセミナーに参加。現在ソロ・アンサンブルで演奏活動を行っている。アザレア・フルート・アンサンブルメンバー。



松尾 綾 (ピアノ)

国立音楽大学卒業。同大学大学院修士課程修了。渡欧し、ハンガリー国立リスト音楽院にて3年間研鑽を積む。2003年に帰国、記念リサイタルを開催。現在はピアノの指導に力を注ぐ傍ら、ソロ演奏、ヴァイオリニストの志村知里氏とのデュオ（2018年、2024年に演奏会開催）、横浜モーツァルトアカデミー（混声合唱団）や声楽、器楽奏者の共演者として演奏活動を行っている。



原口 朝子 (ソプラノ)

武蔵野音楽大学及び同大学院声楽専攻修了。オペラ『魔笛』夜の女王『フィガロの結婚』スザンナ『こうもり』アデーレ『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ『泥棒とオールドミス』レティーシャ他、ミサ曲ソリスト、区役所やホテル主催コンサート、FM放送などにも出演。東京室内歌劇場、埼玉オペラ協会、各会員。



小林 史明 (ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修士課程修了。ドイツ、オーストリアにて、ピアノソロ、アンサンブルの研鑽を積む。2023年、2025年 リサイタル。東邦音楽大学総合芸術研究所伴奏助手、武蔵野音楽大学研修員を経て、武蔵野音楽大学演奏補助員。ピアノ教室Bravura客員講師。埼玉県音楽家協会会員。